

教育計画

学校教育目標・経営方針

1. 学校教育目標

自立・共生・貢献

～ 自ら生きる・ともに生きる・社会に生きる～

2. めざす生徒像

高め合う生徒

- 【自立】自分のよさを見だし、自ら判断し、自ら行動する生徒
- 【共生】仲間のよさを認め、互いを尊重しながらよりよく生きようとする生徒
- 【貢献】郷土三浦を愛し、地域・社会に貢献する生徒

3. 期待する教師像

学び続ける教師

- 生徒のよきモデルとなる教師
- 生徒の気持ちに寄り添う教師
- 自分のよいところを存分に発揮する教師
- 仲間と協働・協調して実践する教師

4. 学校経営の基本方針

互いの『よさ』を認め合い、高め合い、共に成長を喜び合える学校を創造しよう

(1) 安全を守り、安心して学校生活を送れる環境づくりを進める。

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として「南中ガイドライン」を遵守し、安全な学校生活を送ることのできる環境をつくる。
- ・ 学習面や生活面で生徒の不安感を把握し学校全体で対応することで、安心して過ごすことのできる環境をつくる。
- ・ 集団生活の秩序を乱すような問題行動、特に、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努め、組織的に対応をはかる。

(2) 授業（各教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間、特別活動）を通して、学校教育目標の実現をめざす。

- ・ 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力、学びに向かう姿勢（学習内容に向き合う姿勢）を育てる。
- ・ 学級経営における学習指導の充実を図り、主体的に学習に取り組む態度を養う。
- ・ 家庭と連携を図りながら、学級指導・教科指導の両面から生徒の学習習慣が確立するよう努める。
- ・ 教育活動全体を通して人権・道徳教育の充実を図る。
- ・ 体育・健康に関する指導の充実を図る。

(3) 保護者・地域、関係諸機関との連携を積極的に図り、地域に開かれた学校づくりを進める。

- ・ 学校通信、学年通信、学級通信、マチコミメールを活用するなど、積極的に学校の様子や情報を発信する。
- ・ 感染症対策を踏まえながら、可能な限り、地域や保護者に授業や諸行事を公開するように努める。
- ・ 市教育委員会、三崎警察署、児童相談所等、関係諸機関と積極的かつ緊密に連携を図る。

(4) 教職員のライフ・ライフ・バランスを図る（ライフ【Life】：教師としての人生と自分自身の生活のバランスを図る）。

- ・ 担当する校務分掌及びそのミッションを明確にするとともに、チームでその遂行にあたる。
- ・ 出退勤時間を適切に管理し、時間外勤務が常態化しないようにする（タイムカードによる記録の徹底）。
- ・ 部活動ガイドラインを遵守する（通常 平日：週4日以内、土日：1日以内）。
- ・ 計画的に年次休暇を取得する。

◎ 教職員の行動指針：**ほめる・認める・感謝する**

5. 重点教育目標

(1) 【学習指導：一人ひとりの思いを大切に → 自主的な学習者を育てよう！】

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成

- ① 授業規律を守り、粘り強く学習に取り組んでいる。
- ② 自分の考えをもち、他者との対話を通して考えを深めている。
- ③ 「見通し」をもって授業に臨み、単元終了後などで「振り返り」を行っている。
- ④ 家庭での学習に自ら取り組んでいる。

(2) 【道徳教育・特活・総合の指導：一人ひとりの居場所づくりを → 仲間と力を合わせるよさを体験させよう！】

自己肯定感をもち、互いに協働しながら、持続可能な社会の創り手となろうとする生徒の育成

- ① 自分のよいところに気づき、自己の特性を活かしながら諸活動に取り組んでいる。
- ② 人権感覚を身に付け、他人や社会との関わりの中で実践している。
- ③ 集団の一員として協力的な言動を取っている。
- ④ よりよい学校生活・持続可能な社会を築こうとしている。

(3) 【生活指導：一人ひとりに心を込めて → 社会の一員としての自覚を促そう！】

基本的な生活習慣を定着し、よりよい人間関係を形成しながら、自己実現を図ろうとする生徒の育成

- ① 秩序や規律のある生活を送るために、きまりの意義を理解し、礼節をふまえ、時と場に合った言動をとっている。
- ② 暴力や暴言、いじめのない、安心して安全な生活を送っている。
- ③ 互いの人格と個性を尊重し、よりよい人間関係を築いている。
- ④ 自分のよさを発揮するための主体的な進路選択を通して、自己実現を図ろうとしている。

6. 校内分掌の重点課題

(1) 地域連携グループ

- ◎ P T A 活動の充実 < P T A 各種委員会活動の活性化 > 【PTA 事務局】
- ◎ 小中連携の具体の検討 < 小中連携の具体策の提案 > 【生活指導委員会・教科指導委員会と連携】

(2) 教科指導グループ

- ◎ 教科指導の充実 < 信頼される学習評価の実現 > 【教科指導委員会】
 - ・ 「見通しと振り返り」など授業で大切にしている考え方に関する情報発信
 - ・ 家庭学習の在り方（家庭学習の中身と量など）の検討
 - ・ Qubena の効果的な活用（家庭学習とのリンク）の検討
- ◎ 学校研究の推進 < 校内研究の活性化に向けた具体策の提案 > 【研究推進委員会】

(3) 特活・総合グループ（人権・総合・学活・進路・情報・図書館・みうら学海洋教育・生徒会・部活動等）

- ◎ 総合の全体計画を受けた具体的な活動の推進 < 各学年の活動内容の再構成 > 【総合部会】
 - < 校外行事と総合の関連性の整理（修学旅行・キャンプの目的・実施場所の検討） > 【行事検討委員会】
- ◎ 人権教育 3 年間のプログラム化 < 各学年の活動（体験）内容の再構成 > 【人権教育担当】
- ◎ 学年を超えた交流促進の手立て【生徒会指導委員会】
- ◎ 部活動の在り方検討 < 南中らしい部活動の在り方の構築 > 【部活動担当】

(4) 生活指導グループ

- ◎ インクルーシブ教育の推進 < 「共に学ぶ」体制の構築 > 【インクルーシブ教育推進委員会】
- ◎ 生徒指導体制の確立・研修の推進【生活指導委員会】

(5) 学校評価アンケート内容再検討・アンケート結果の分析【企画調整会議 学校評価グループ】

(6) 令和 6 年度以降の教育課程編成【教務グループ】

- ◎ 体育祭、キャンプ、春のイベント、文化祭、職場体験等の行事や授業時数確保を含むカリキュラム・マネジメント

(7) I C T 環境の整備【情報教育担当】

- ◎ 一人一台端末環境の実現に伴う環境整備・デジタルシチズンシップの推進
- ◎ 電子黒板等の視聴覚・ICT 機材の整理・有効活用（視聴覚担当と連携しながら）



三浦市教育大綱
三浦市学校教育ビジョン

『三浦らしい教育の実現』

『三浦の良さを生かしたつながりと深まりのある小中連携教育の推進』
～未来をたくましく しなやかに生きる子どもを育むために～



学校教育目標

『自立 ・ 共生 ・ 貢献』

自ら生きる

ともに生きる

社会に生きる

学校経営方針

互いの『よさ』を認め合い、高め合い、共に成長を喜び合える学校を創造しよう

- (1) 安全を守り、安心して学校生活を送れる環境づくりを進める。
- (2) 授業を通して、学校教育目標の実現をめざす。
- (3) 保護者・地域、関係諸機関との連携を積極的に図り、地域に開かれた学校づくりを進める。
- (4) 教職員のライフ・ライフ・バランスを図る。

行動指針 ほめる ・ 認める ・ 感謝する

めざす生徒の姿

高め合う生徒

- 【自立】 自分のよさを見だし、自ら判断し、自ら行動する生徒
- 【共生】 相手のよさを認め、互いを尊重しながらよりよく生きようとする生徒
- 【貢献】 郷土三浦を愛し、地域・社会に貢献する生徒

期待する教師像

学び続ける教師

- 生徒のよきモデルとなる教師
- 生徒の気持ちに寄り添う教師
- 自分のよいところを発揮する教師
- 仲間と協働・協調して実践する教師

3本柱の充実

重点目標①

★ 基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、主体的に学習に取り組む態度を育てる

自立的な学習者

重点目標②

★ 自己肯定感をもち、互いに協働しながら、持続可能な社会の創り手となるようとする生徒を育てる

仲間と力を合わせるよさ

重点目標③

★ 基本的な生活習慣を定着し、よりよい人間関係を形成しながら、自己実現を図ろうとする生徒を育てる

社会の一員としての自覚

学校研究の推進

学習指導

一人ひとりの思いを大切に

- 授業規律・粘り強い学習態度
- 対話を通して考えを深める
- 「見通し」と「振り返り」
- 家庭学習の定着

道徳教育・特活・総合の指導

一人ひとりの居場所づくりを

- 自己肯定感の醸成
- 人権感覚の醸成
- 集団生活の向上
- 自治能力の向上

生活指導

一人ひとりに心を込めて

- 規律・礼儀・あいさつ
- 安心・安全な生活
- 望ましい人間関係の構築
- 主体的な進路選択

信頼される評価

総合的な学習の時間の再構築

インクルーシブ教育の推進

家庭学習の検討

地域との協働

PTA 活動の充実

お互いの顔が見える信頼関係

- 積極的な学校公開・情報発信
- 地域行事への参加と貢献
- 小中連携

小中連携の
具体の検討

自分も大切、相手も大切 ・ 安心・安全に学べる学習環境

誰もが幸せに生活できる学校・社会